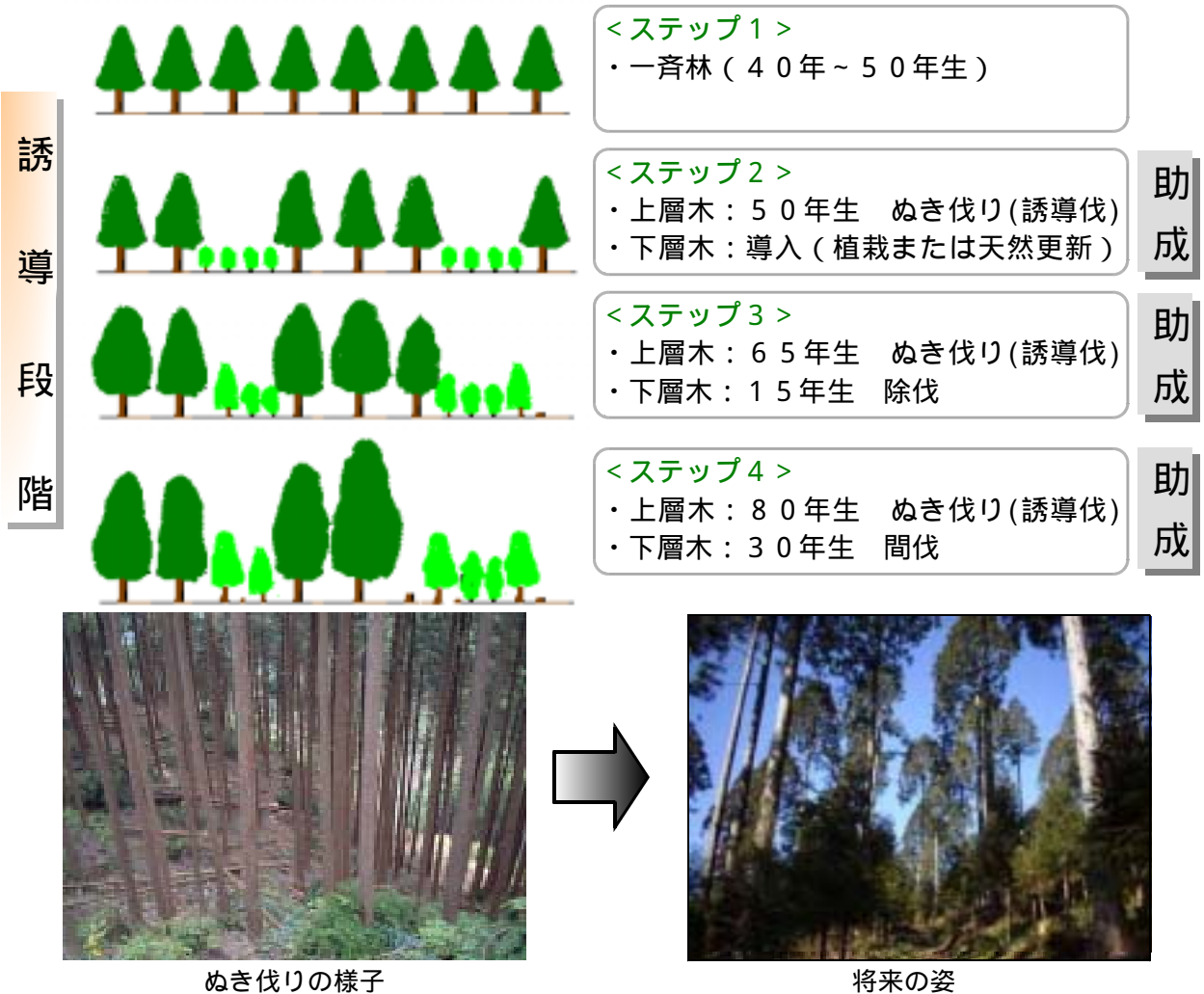


長期育成循環施業とは？

- ・ぬき伐りをくり返し、複層状態(循環状態)の森林へ誘導する施業です。
例えば、



長期育成循環施業には次の2つのタイプがあります。

水土保持タイプ(単木型)

将来にわたり、水源かん養や災害防止の働きが大きい森林をつくれます。

- ・単木単位のぬき伐り(単木型)が理想です(小面積の帯状、群状も可)。
- ・伐採率は40%以下とします。
- ・広葉樹の導入など、多様な森林づくりを心がけていきます。

循環利用タイプ(帯状型)

将来にわたり、くり返し木材資源を生産する森林をつくれます。

- ・効率よく施業を進めるため、最大で残存木の樹高2倍以下の幅で、帯状、群状のぬき伐りができます。
- ・伐採率は50%以下とします。

参考：編集・発行(社)全国林業改良普及協会「ぬき伐りでいこう！～長期育成循環施業の手引き～」